

白男川区高齢者おたすけ隊(鹿児島県さつま町)

(構成：隊長1名(民生委員兼務, 71歳), 中心隊員20名(自治会長, 役場職員, 団体職員等))

《活動主体の概要》(平成27年4月1日現在)

総人口： 398人

高齢者数： 177人

世帯数： 125世帯

産業構造： 農業従事者が多い

地理的構造：紫尾山のすそ野に位置し, 周囲を山々に囲まれ, 地区の周辺を泊野川が流れている山紫水明の農村地帯です。



活動のきっかけ

さつま町では, 20の公民館それぞれの地区ごとに, 地域の活性化等について年4~5回程度話し合う「区活性化委員会」を設けています。

平成22年度の白男川区の活性化委員会の中で, 高齢者への支援策を検討しました。

自宅周辺の草刈作業など, はじめは「シルバー人材センターに委託しよう」という話も出ましたが, 「1~2時間の作業をわざわざシルバー人材センターにお願いするのは心苦しい」という意見が出たため, 地区内の青壮年(50~70歳代)や女性部を主体とした有志が立ち上がり, 「白男川区高齢者おたすけ隊(以下「おたすけ隊」)」を組織し, そのような高齢者からの生活支援ニーズに応えることになりました。

組織の立ち上げから活動の開始までの取組について

まず, グループの設立に向けて, 地域の主なメンバーで, 対象者や支援の内容, 活動方法等を話し合いましたが, 組織の規約を定めた方がよいという意見があったため, 当時の白男川小学校の校長先生に相談し, 規約を制定していただきました。その中で, 無償ボランティアで実施すると, 作業を頼む高齢者も気兼ねして頼みにくいし, 作業をする方も精神的負担が多くなり, 長続きがしないとアドバイスを受け, 有償ボランティアの形で平成23年6月から活動を始めました。

活動方法

町内に子どものいない独居・高齢者夫婦世帯等の方が, 生活支援(庭の草刈り・除草・庭木の剪定・家の裏山の樹木や竹林の伐採・家の片付け・掃除・障子張り・季節の衣替え等)を必要とする場合は, 白男川紫陽館(温泉付集会所)の管理人へ連絡し申込みます。

申込みを受けた同館の管理人は, 「おたすけ隊」隊長へ連絡し, 隊長が現場を確認後, 地域性や作業量を分析し, 作業に従事できそうな隊員に連絡し, 必要なサービスニーズと生活支援サービスとのマッチングを実施し, 必要な人数だけ派遣します。ここで気をつけている点は, 長時間の労働は大変なので, 作業全体を大体2~3時間で終了するよう心がけています。

作業終了後, 作業を担当した隊員は, 報告書を隊長へ提出します。

工夫点

「お助け隊」隊員の募集について

定年を迎えた方々を中心に, 声掛けしながら勧誘しています。その中で, 紫陽館調理室を活用した, 女性部の活動が活発になってきたところです。

利用を促すための周知・広報について

とりあえずは, うったって(始めて)みましたが, あっという間に口コミで広がってしまい, やめるにやめられなくなってしまったのが現状です。

利用料, 活動費用について

利用料は、サービス終了後、隊員へ料金（1人1時間500円）を直接支払うか又は、紫陽館へ届けていただきます。500円の内、100円は隊の運営費として徴収し、400円が作業員へ支払われますが、替刃や機材の費用に充てています。

また、組織の運営費として、白男川区公民館から年間1万円を補助されています。

成果 活動実績について

| 項目 年 | 依頼者数 (延人数) | 作業員 (延人数) | 活動時間 | 備考 |
|---------|---------------|--------------|------|----|
| 平成23年 | 17 | 35 | 81 | |
| 平成24年 | 16 | 49 | 116 | |
| 平成25年 | 25 | 65 | 154 | |
| 平成26年 | 34 | 73 | 157 | |
| 平成27年 | 36 | 83 | 183 | |
| 合計 | 128 | 305 | 691 | |

効果的な活動事例について

要支援2の介護認定を受けている当時88歳の女性の方から、敷地内の草刈りや粗大ごみの処分等に困っていると相談がありました。女性は一人暮らしで、出来ることがだんだん少なくなり、生きがいを見いだせない生活を送られておりましたが、「おたすけ隊」の活動により自宅周辺がきれいになったことで、生活に張りが出て活動意欲が改善し、原木きのこの栽培（自家用）を始められました。



課題

年1回は公民館で、総会を兼ねた隊員の交流会を実施しています。しかし、結成から5年経過し、隊員にもマンネリ化が見えることから、県内外の類似団体等を視察し、

初心に帰り今後の取り組みにつなげていきたいと考えているところです。また、隊員にも高齢化の波が押し寄せていることから、後継者育成が急務であると考えています。また、高齢者からは、買い物支援や通院支援のニーズが寄せられていますが、車での送迎中の事故の際の対応など検討すべき事項が多く、支援できていません。今後も、引き続きニーズに応えられるように検討していきたいです。

代表者、事業者等の声

「白男川区高齢者おたすけ隊」隊員の声
活動によって、利用者だけではなく、隊員にも大きなメリットがあると思っています。

地域の高齢者の生活を支えているということが、自分の生きがいにもなっており、活動を通じて地域の方と触れあったり体を動かしたりすることによって、自分自身の元気（介護予防）にもつながっているからです。

町（行政）の声

この活動で、地域の絆が強まったように感じます。また、活動を通じて地域の高齢者の実態把握も行えるという点でもとてもよい取り組みだと感じており、町内の他の地域にも広げていければと考え、この活動を周知・広報しています。

その他

最近の新しい取り組みについて

女性部の方から、「地域の公民館等の調理場を活用し、高齢者向けの配食サービスができないか？」と意見が出され、平成27年度から「紫陽彩グループ」を結成し、「がね（さつまいも等の天ぷら）」等加工品の開発を実施しながら、町内の各種イベントに参加し、白男川地区のPRや活性化に向けて取り組んでいるところです。ゆくゆくは、地域の高齢者の配食サービスまで実施するよう計画しているところです。